



平成 26 年 5 月 12 日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
(コード：6666 JASDAQ)
問合せ先 取締役総務本部長 高保 譲治
(TEL. 0551-22-1211)

連結業績予想値と実績値との差異、個別業績の前期実績値との差異 及び配当予想の修正並びに特別損失の発生に関するお知らせ

平成25年5月10日に公表した連結業績予想値と本日公表の実績値及び個別業績値と前期実績値について差異が生じたので、お知らせするとともに、平成26年3月期の配当予想の修正並びに特別損失の発生につきましても、お知らせいたします。

1. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 6,806	百万円 118	百万円 96	百万円 83	円 銭 11.34
今回発表実績 (B)	5,734	△320	△177	△236	△32.11
増減額 (B-A)	△1,072	△439	△273	△320	
増減率 (%)	△15.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	6,208	3	134	112	15.21

2. 平成 26 年 3 月期通期個別業績値と前期実績値との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円 5,828	百万円 351	百万円 335	円 銭 45.57
今回修正予想 (B)	5,199	△213	△354	△48.09
増減額 (B-A)	△629	△564	△690	
増減率 (%)	△10.8	—	—	

3. 差異の理由

(1) 連結業績

売上高につきましては、用途向けではPC及び周辺機器、車載関連、AV機器向けは計画を上回りましたが、スマートフォン向けの受注が当初の想定を大きく下回る見込みであること、地域向けでは中国市場での販売が伸び悩んだことなどから当初の予想を大きく下回る見込みです。

損益につきましては、コスト削減に努めたものの、売上高が大幅に減少することから、営業、経常、当期純損益ともに損失となる見込みです。

なお、通期の為替レートにつきましては1ドル105.39円を前提としております。

(2) 個別業績

個別の業績予想につきましても連結とほぼ同様であります。営業外費用に関係会社事業損失引当金繰入額、特別損失に関係会社株式評価損をそれぞれ計上しております。

4. 配当予想修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成25年5月10日発表)	円 銭 —	円 銭 1.00	円 銭 —	円 銭 2.00	円 銭 3.00
今回修正予想	—	—	—	1.00	2.00
当期実績	—	1.00	—		
前期実績 (平成25年3月期)	—	1.00	—	2.00	3.00

5. 配当予想修正の理由

当社は、長期安定的な企業価値向上によって、株主への安定的な配当を継続的に行うことを経営の最重要課題とし、これに加え、連結業績及び配当性向等を総合的に勘案した利益還元を行うことを基本方針としております。当期の期末配当金につきましては、通期の業績、今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、前回予想2円を1円に修正させていただきます。

6. 特別損失の発生及びその内容（連結）

連結子会社の生産調整に従い、希望退職者の募集を実施しました。これに伴い、当連結会計年度において割増退職金等を見積もり、退職特別加算金33,615千円を計上いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

なお、詳細につきましては、本日公表の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上